

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シャイニー			
○保護者評価実施期間	R8年 1月 6日		～	R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	38
○従業者評価実施期間	R8年 1月 6日		～	R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が連携して支援を行っている	専門職、看護師、保育士が常勤し、医療的ケア児への支援も行っている	医療的ケアやてんかん等の更なる知識向上を図っていく
2	日頃からの情報共有	・毎日活動の確認やフィードバック等の時間を設け、情報を共有しながら支援を行っている ・気になる点や支援アイディア等あった際はその都度スタッフ間で話し合いを行っている	スタッフ一人一人が知識を深めていけるような事業所作りを行っていく
3	利用児に合わせた支援の提供	事業所評価内にもあったように、その日の本児のコンディションなども含めて活動内容を考えている	事業所内の研修や外部研修を積極的に開催や参加を行い、支援の質を高めていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や兄弟児が参加可能なイベントの開催ができていない	支援の時間を優先したいという思いや、事業所の広さなどから開催することの難しさがあった	・体育館など広いスペースを借りるなどして大人数になってもできる環境にて実施を検討する
2	第三者評価を行うことができていない	口頭での相談や提案をいただく場はあっても、訪問していただいての助言等はもらえていない	事業所として主観的な考えにならないよう客観的な意見も取り入れていく
3	家族支援について	個別的な保護者面談や活動見学などで話す時間は設けているが、ペアレント・トレーニングなどは開催できていない	相談や面談の希望を伝えやすいような雰囲気や仕組み作りを考えていきたい